

第9回震災予防講演会（通算 38 回）

近年の豪雨災害の教訓と震災予防

主催 公益社団法人日本地震工学会

近年、平成 29 年 7 月九州北部豪雨や、西日本を中心にして北海道や中部地方の広い範囲に影響を及ぼした平成 30 年 7 月豪雨など、頻繁に豪雨災害が発生している。そこでは、河川の氾濫による被害だけでなく、緩んだ地盤による土砂災害等も多く発生していた。このような土砂災害は、平成 30 年北海道胆振東部地震や関東大震災でも見られ、豪雨災害との共通点があるように見える。本講演会では、近年の豪雨災害の教訓を再確認するとともに、北海道胆振東部地震や関東大震災等の地震被害からの教訓とあわせて、震災予防のヒントを探る。

日時：2019 年 2 月 8 日（金）13:00～16:30

場所：パシフィコ横浜・アネックスホール G 会場（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

プログラム：13：00～16：30

司会 震災予防講演会 WG

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-14:05 近年の豪雨災害の教訓

高須是樹（日本ミクニヤ(株)）

14:05-15:05 土砂災害は身近で起る：関東大震災の神奈川県を例に

武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター 教授）

15:05-15:15 休 憩

15:15-16:15 平成 30 年北海道胆振東部地震の教訓：住宅地の液状化被害を例に

若松加寿江（関東学院大学 元教授）

16:15-16:30 質疑応答

以上